

京都サマープログラム 2017

ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学・3年
ダン・ティール・フォン
July 31 – August 10, 2017

私は、大学に入ってから日本語の勉強を始めました。大学入学から3年が経ち、もうすぐ4年生になります。日本に来るのは今回がはじめてなので、来る前から非常に楽しみにしていて、よく準備をして、やって来ました。

関西空港から旅館へ行くバスの中から外を見ると、道がとてもきれいで、自動車と自転車だけが走っていて、バイクが一台も走っていませんでした。これが私の日本に対する第一印象でした。日本を離れた今、これがベトナムと一番違う点だと思っています。稲垣先生と日本人のサポーターたちは、私たちアセアンの学生が日本語に不慣れなことから、ゆっくり話してくれて、とてもありがたいと思いました。

はじめの日に、旅館でチェックインした後、日本人の皆と一緒に昼ごはんを食べに行き、それから近くのお寺の祭りを見に行きました。その時、私は「次の日も観光が続くのかな」と思ってしまいました。しかし、先生から渡されたプログラム日程の冊子を読み、そうではないことに気づいて、申し訳ない気持ちになりました。

大学で授業に出る日は、眠い時や、授業が難しいと思う時もありましたが、日本語の授業を担当していただいた白方先生は優しく、そしてクラスの雰囲気を楽しくしてくれながらも、学生たちの考えをうまく引き出そうとしてくれました。分からない個所についても、分かりやすい説明を工夫してくださいました。

また、プログラム中に一番私が感動したのは、困っている時に先生もサポーターたちも全員が「大丈夫ですか？」と心配して聞いてくれたことです。道を歩いている時に、疲れきった顔をしていた私を見て、インドネシア大学のケーイさんが私の手を握っていっしょに前に進んでくれたのは、わたしにとって忘れられない出来事です。皆と本当の友達になることができるととても嬉しく思います。

自国の大学では日本語を毎日勉強してきましたが、ベトナムでは日本人と話すチャンスが少なく、自分が思っていることを口に出すのは苦手でした。しかし、日本に来てから、友達と日本語で話すことが増え、これまでに勉強してきた日本語を実際に活用することができました。これはすばらしい機会だったと思います。

京都サマープログラムに参加することで、様々な面で成長することができ、また日本語や日本の文化について理解を深めることができました。本当にありがたく思います。

日本に来るチャンスを下さったのは京都大学とハノイ国家大学外国語大学の先生方です。心から感謝しています。このプログラムを通して学んだことは、今後の勉強にも生活にも活用していきたいと思っています。